

平成9年9月18日

西桂町議会
議長 石原 滋 殿

総務常任委員会
委員長 牛田 茂

委員会所管事務調査報告書

総務常任委員会では平成9年9月5日に、ミニサッカー場施設建設のための先進地視察を行いましたので報告いたします。

記

視察参加者

西桂町議会議員 11名

石原 滋 議長、前田巳智男 副議長、高尾活弐 議員、永田富幸 議員
滝口憲一 議員、渡辺英一郎 議員、小林隆芳 議員、高尾嘉一 議員
牛田 茂 議員、梅原啓一 議員、小山忠男 議員

執行部参加者 4名

前田勝弘 町長、渡辺富士雄 企画振興課長
奈良 護 企画振興課長補佐、川村達彦 建設課長補佐

職務による参加 2名

議会事務局、運転手

視察会場1：山中湖スポーツセンター

所在地 山梨県南都留郡山中湖村平野 126

事業形態 民間施設、代表取締役 天野猶治

視察施設 全面人工芝多目的スポーツコート（ミニサッカーコート4面）

（山中湖スポーツセンター概要説明）

まず私どもがなぜミニサッカー場経営をはじめたのかを説明いたします。私はスポーツ合宿を中心とした旅館経営をしていますが、この地域を考えましたところ5年前よりテニス利用者が減少している状況で、何か他のスポーツで集客したいと考えておりました。私が以前より11人制のサッカーに携わっている関係で、この地域に学生のサッカー愛好者が多く集まっていることを知っています。しかし学生の話を知ると

11人集まるのが難しいと、そこでフットサルと言いますが、ミニサッカーは5人でできます。手軽にできるということで今莫大な人気を得ているところでございます。

サッカーを通じて地域の子供さん教育の場所として提供できないかと考えており、人工芝のクリーンというのが非常に自然の状況に近く感じて、この施設は以前テニスコート6面でしたが、若干土地を広くしまして80メートル×50メートルのグラウンドを作りました。この大きさは小学校6年生の公式のサッカーの試合ができる関係で、その中にちょうど公式戦のフットサルのコートが4面入ったという形になっております。小学校低学年から40歳50歳の社会人の方々が来て使っていただいています。地元の小学生もスポーツ少年団また西桂町のスポーツ少年団アミーゴスも利用されています。昨年8月にオープンいたしまして大きなスポンサーもつきまして全国大会が昨年当村当施設で行われました。今年度は2回目になるのですが今年は予選から入れますと2千チームが参加して、決勝大会には一般と子供さんで73チーム、延べ4泊したのですがこの地域の旅館組合には2千泊のお客さんが泊まりました。

この地域をフットサルタウンとして、この平野地域がもう一度テニス同様お客さんが増えてくるのではないかと考え、村としても来年は予算を計上してこのフットサルの競技に協力をしたいというお話をいただいております。またテニスコートよりミニサッカー場への転用は簡単で、私のところへも多くの利用者が訪れますが、現状この施設一つでは足りない訳でして、2・3件の民宿より作りたいとの声も聞いております。この施設の利点として、お子さんをこのコートに連れてきますと転がって遊びだします。ボールがあると蹴ってみたい。この人工芝は環境に非常にすばらしいのではないかと考えます。合宿客獲得にもつながって東京から多くのお客さんがこの会場をいたために私の旅館に泊まります。また学校の移動教室、自然歩道を散策して例えば次の日にこの施設で運動会を行うと、非常に多目的にも利用されています。旅館の売り上げにも良い影響が出ています。

リゾート地ですから照明関係も付けないといけません。夏場の合宿で時間貸しもありますので、ナイターがないと1チームしか使えない訳です。ナイターがありますと夜10時まで使えることによって、山中湖にいらっしゃいますチームが使えるということです。雨でも人工芝ですので利用できますので、旅館に泊まっているお客さんが利用いたします。今年を振り返ってみますとこの施設は空いている時期がなかったと言えます。この施設、山に囲まれていまして一度利用されたお客さんのリピート率は高いようです。

(委員質疑)

このコートの下は土ですか。

(山中湖スポーツセンター回答)

そうです。やはり土にしたというのは自然環境にマッチしているということと、下をアスファルトにするとお金もかかる。しかしそのままでは寒いので霜関係がありません。地盤改良という薬を混ぜ、この部分の地盤改良をしてあります。ですから上がるときには一緒に上がり、下がる時も一緒です。多少の波は出ていますが、選手のこ

とを考えるとコンクリですとひざとか、腰とかに負担がかかります。ですのでプレイヤーのことを考えると土の方が良いのではと考えます。踏んだ感じが柔らかいのです。ただし寒い地域ですのでメンテナンスがかかります。どうしても波が出ますのでそれを直さなくてはなりません。ですがそんなに波は出ません。

(委員質疑)

雨は浸透するのか。

(山中湖スポーツセンター回答)

少量のものは浸透します。U字溝がありますので大雨のときはそこを流れます。

(委員質疑)

この人工芝の下にはクッションが入っているのですか。

(山中湖スポーツセンター回答)

薄いフェルトが入っています。

(委員質疑)

地下には水抜きが入っていますか。

(山中湖スポーツセンター回答)

入っていません。コート全体がかまぼこ状態になっているので、また全体に勾配をとってあります。またフェルトにも溜まります。

視察会場2：長泉町営ミニ運動場

所在地 静岡県駿東郡長泉町中土狩532の2

事業形態 町営施設、長泉町教育委員会

視察施設 三菱ダイヤモンドミニサッカーフィールド

(ミニサッカーコート1面)

(長泉町教育委員会概要説明)

ミニ運動場でございますが、以前は運動公園という中で子供たちがいつでも遊べるという施設でありましたが、あまり利用されていないということで草が生えたりしましたので、平成15年には国体が静岡県に来る訳でしてわが長泉町はグランドホッケーが来るという中で、今の小学校4・5年生が高校生になるときに国体が来るということですからホッケーの施設を考えていました。

このミニ運動場は東京産業が施工しましたが、人工芝、フェンス、このフェンスはFRPフェンスといいまして中に水が入っています。入っている時には人の力では動かないようになっています。逆に水さえ抜けば移動が可能となります。人工芝は移動可能ですので、他に用地があれば全体の移動が可能です。といいますのはこのミニ運動場が都市計画道路の延長にあっている関係です。このグランドのフィールドの寸法ですが幅16メートル長さ36メートルです。そして路盤の工事を行いまして、人工芝、FRPフェンスで高さ約1メートル、その上に防球用のネットの高さが地面か

ら3メートル、ゴール側は4メートルであります。工事費の計が3千200万円とそれに消費税がつきます。夜間若い人たちが使うという形の中で夜間照明が当然必要になってくる訳でして、夜間照明の設計をいたしまして、工事を施工いたしまして478万9千500円で消費税込みです。以上工費費の計が消費税を含みまして3千774万9千500円ということでございます。これは全て一般財源で措置いたしました。

使用については土曜日になりますと朝から練習に入る若者が多くありまして、一般の平日でも午前9時から午後9時まで毎日のように使用しています。コート使用料はテニスコートと同様にして1時間に500円ということで、2時間貸しをしますので使用料は1千円と、それから夜間の使用については照明料使用料として1時間350円で2時間ですと700円となり合計1千700円が夜間の使用料となります。

(委員質疑)

業者が東京産業とっていましたが随意契約ということで、1社きりしかないのですか。

(長泉町教育委員会回答)

この製品(FRPフェンス)は三菱重工の製品なのです。そして東京産業がこの製品を扱って行っているということです。

(委員質疑)

コート的人工芝の下は、アスファルトはひいてないのですね。

(長泉町教育委員会回答)

アスファルトはひいておりません。砕石で平らにしますその上に砂をひいて、その上に砂が動かないように特殊なサンドロック層を設けて、そして人工芝をひいています。試合をしていても他市町村のアスファルトの人工芝では、途中で足に負担がくると、その点当町の施設はアスファルトをひいていませんので、砂ですから足・ひざにくるということはありません。

(委員質疑)

砕石の勾配というのはどういう事ですか。

(長泉町教育委員会回答)

潜っている水が早く流れるように多少勾配をつけてあるのです。

(委員質疑)

人工芝の耐用年数は、また痛んだところの部分的な張り替えは可能ですか。

(長泉町教育委員会回答)

人工芝のテニス場を見ると10年くらいが耐用年数かと思われれます。10年で部分的に痛んでいますので、また部分的な取り替えは可能です。